

令和6年度 各評価から（まとめ）

令和7年1月

①自己点検アンケートから（とても思う…1 思う…2 あまり思わない…3 思わない…4 として平均値を算出。「分からぬ」は平均値に含まれない。中央値は2.5）

	主に教育課程・学力向上【研推】	特別活動・体力向上・学び舎【特活】	生活指導・地域連携・教育相談【生活指導】	重点目標・勤務等【企画会】
上位項目	33 私は教科「日本語」の趣旨を理解して指導に当たっている。 36 私は年間計画に基づいて、総合的な学習の時間を計画的に進めている。 10 私は児童の生活や授業、学校行事などを振り返る活動を通して、自分の良さに気付く指導をしている。	3 学校は、児童の関係力・社会形成能力を育成している。 48 児童はさくら組活動等の異学年交流で、思いやりの心をもち、仲良く遊ぶことができている。	9 安全点検、感染症対策などにより、安心・安全で健康的な環境・体制作りが図られている。 14 私はすまいる、教育相談部、特別支援コーディネーター、SCと連携をして、児童理解を充実させている。	19 学校は校外の学習において事前に校外学習実施届を作成・起案し適切に進めている。 81 提案文書、保護者宛文書について起案を通し、配布している。 79 学校は私費会計の徴収・会計処理を行っている。 20 私は各教科の授業時数を把握し、授業を進めている。 59 教職員は主体的・組織的に教育活動を遂行している。
検討すべき 下位項目	※今年度は、課題数値になるものがなかったので、それぞれの最下位項目のみ記載。（参考）			
	70 私は世小研等の研究・研修会に積極的に参加し、指導力向上につとめている。	51 学校は、学校行事の準備・練習を教育課程の中で適切に位置付けている。	75 学校は有事の際に組織的な対応ができるよう、体制が整備されている。	65 本校は校内OJTにより教員としての資質向上が図られている。

②学力調査から

現状	<ul style="list-style-type: none"> 学年が上がるにつれ、長文の問題の無答率が上がる。（学力調査より 教科問わず全般） 条件作文の無回答率が高い。（学力調査より 国語） 文章問題に弱さがある。（学力調査より 算数） 普段、生活の中で触れることが少ないので、理科の授業の中で、正しい用語や器具の名称を覚える。（学力調査より 理科） 問題文の読み取りに課題がある。（学力調査より 国語・社会） 		改善に向けて <ul style="list-style-type: none"> ▼授業の振り返りや日記、読書感想文等 自分で一から文章を書く経験を増やす。 ▼「○○の仕方を考え説明する。」など思考の過程を記述させたり、話させたりして「説明できる力」を伸ばしていく。 ▼学習したことの資料を児童の端末に残したり、家庭学習で意識的に取り組ませたりして日常的に触れる機会を増やす。 ▼教科横断的に読み取りを意識させた授業や取り組みを行う
----	---	--	--

③新体力テストから

現状	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の結果は、多くの種目で全校平均。前年度平均を超える良い結果となった。 		日常的に体を動かせる機会が戻ってきたことや、体育などの授業でも制限なく様々な運動ができるようになってきたことが大きい。また、体育部などからの運動啓発の効果も出ていると考える。
----	---	--	---

④児童アンケートから

	1~4年	5~6年	
上位項目	① 友達と仲良くできる。(88%) ② 京西小学校が好き。(85%) ③ 楽しみにしている行事がある。(84%) 先生は勉強が分からないときに丁寧に教えてくれますか。(84%)	① 友達と仲良くできる。(95.2%) ② 授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。(93.8%) ③ 先生に注意されたことは理解できる。(91.8%) ④ 学校行事は楽しい。(88.2%)	総じて…(昨年と傾向は同じだが、教員との関係に関しての評価が上がっている。学校生活には概ね満足して過ごせている様子。また、学年によって偏りがある。) ○友達と仲良くできる。 ○行事は楽しい。 ○京西小が好き。 ○自分の考えを表出できる機会が授業の中で多い。 ▼読書に関しては、習い事などの忙しさで時間が確保できないことも考えられる。
下位項目	※特記するような数値の下位項目はなし。 (どちらともいえない回答がやや高かったもの→学校の決まりを守っていますか。32%)	① 本を読んでいますか。(29.3%) ② 自分の生き方や将来のことについて考える授業がある。(27.4%)	

⑤保護者アンケートから

上位項目	<p>① 本校は避難訓練やセーフティー教室などで子どもに安全に関する指導をしている。(95.3%) ② 本校は学校公開や保護者会などで児童の様子が分かる。(94.7%) ③ 子どものよい所を認めている。(94.7%)</p> <p>※学校行事は子どもにとって楽しい。学校行事は子どもにとって達成感がある。 →とても思う回答がいずれも55%ほどある。(肯定的回答は93%)</p>		<p>総じて…</p> <p>○安心して通わせられる学校としての認識をもってもらっている。</p> <p>○子どもたちの様子を見る機会が増えたり、学校からの発信が増えたりしたことで学校の様子が分かったり、子どもたちが生き生き活動する様子が伝わっている。</p> <p>○学校公開等の機会を活用して学校の様子を把握している。</p> <p>○学校行事に関する肯定的な回答が非常に高い。</p> <p>▼家庭で自主的に学習しているとは感じていない保護者が1/3程いるが、昨年度よりは減少している。</p> <p>▼読書への積極性を感じられていないが、家庭での姿が見えにくいことも考えらえる。(学校では読書の機会は多い。)</p> <p>▼すくんで運動しているとは感じていないが、昨年よりも減少傾向。学校では、意識的に外遊びの機会を増やしている。</p> <p>△キャリア教育がどのように学校で行われているかわからない。</p> <p>△学び舎の活動が行われているかわからない。</p> <p>→例年同じ傾向。見えにくい質問項目である。</p>
下位項目	<p>① 子どもは、家庭で自主的に学習をしている。(38.8%) ② 子どもは読書をしている。(37.1%) ③ 子どもはすくんで運動している。(33.6%)</p>		
「わからない」が多い項目	<p>△本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。(33.6%) △本校は、地域に情報を提供している。(30.6%) △本校は近隣の(幼)・小・中学校で構成する「学び舎」の連携や交流活動が行われている。(27.9%)</p>		

⑥地域アンケートから

上位項目	<p>① 学校行事の内容は充実している。(100%) ② 学校公開や道徳地区公開講座などで学校の様子が分かる。(100%) ③ 学校の重点目標が明確である。(100%)</p>		<p>総じて…</p> <p>○本校の教育活動を肯定的に捉えていただいている。</p> <p>○地域の方にも教育活動を参観していただく機会が増え、その様子が伝わっている。</p> <p>▼△学校協議会などの組織が理解されていない。→参観の機会も少なく、見えにくい。(昨年度も同じ傾向)</p>
下位項目	<p>① 学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。(46.2%) ② 「学び舎」の活動について、情報が提供されている。(23.1%)</p>		
「わからない」が多い項目	<p>△学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。(30.8%)</p>		

⑦重点目標について

やさしい京西の子ども～思いやりをもち人の役に立ち、自己実現できる子～	かしこい京西の子ども～探究的な学びができる子・論理的に思考できる子～	げんきな京西の子ども～健康で運動が大好きな子～
<p>【児童】「友達と仲良くできる」の自己評価は全学年で高い。交友関係に満足できている児童が多い。 「自分にはいいところがあると思いますか。」の否定的回答が少ない。 集団の中で自分の力を発揮できている実感をもてている児童が多い。</p> <p>【教師】「児童はさくら組活動等の異学年交流で、思いやりの心をもち、仲良く遊ぶことができている。」と捉えており、さくら組活動を充実させてきた成果が児童の姿に見え始めていると感じている。</p> <p>【保護者】「子どもの良いところを認めている」肯定的評価94.7%</p>	<p>【児童】勉強している内容がよく分かる(1～4年)肯定的評価75% 先生は分からないことを丁寧に教えてくれる。肯定的評価84% →分からないことをそのままにしないようにしていることが分かる。 課題(めあて)について、自分で考えたり友達と考えたりする時間が授業である。(5, 6年)肯定的評価89.7%</p> <p>【教師】自分なりの問い合わせをもち、追求しようとする児童。肯定的評価83% 「探究のプロセス」を意識し授業している。肯定的評価87% →以上2点、昨年度より数値が上がっている。</p> <p>【保護者】「子供が考えることや課題を解決することを大切にした授業を行っている」肯定83.9% 「子供が考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」肯定86.8%</p>	<p>【児童】自分からすくんで運動する児童70%(1～4年)、76%(5, 6年)→昨年度より下がっているが、体育の授業がしっかり確保できていることと体力テストの結果は良くなっている。 給食の時間が好きな児童が79%(1～4年)、81%(5, 6年)</p> <p>【教師】体育朝会や集会で運動啓発を意識的に行っている。めあてカードなどを作成し、楽しむ中にも正しい技能を身に付けられるよう意識して指導している。</p> <p>【保護者】子どもは体力向上や健康な生活に取り組んでいる。肯定的評価75.9%、否定的評価17.1%である。 給食試食会では、学校給食への大変肯定的な感想が寄せられている。(栄養面、献立のバラエティ、和食、おいしさ、子どもたちからの感想)</p>